

## 2019 (令和元) 年度 共同利用研究・研究成果報告書

研究課題名 和文：重力波望遠鏡における電磁波散乱・伝搬シミュレーション VI  
英文：Numerical Simulation of Electro-Magnetic Wave Propagation in  
Gravitational wave Detector VII

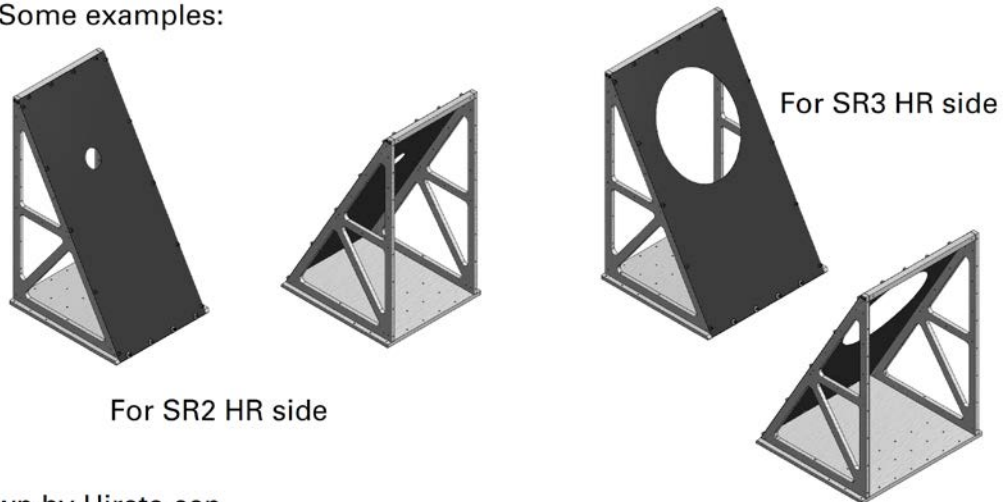
研究代表者 三代木伸二  
参加研究者 (東大宇宙線研) 大橋正健、内山隆、鈴木敏一  
(東大理学系研究科) 長谷川邦彦、大柿航  
(国立天文台) 阿久津智忠、都丸隆之

### 研究成果概要

前年度インストールされた WAB の改良後の低温化試験を行った。結果、約 800 時間後に、16.2K 以下の温度が達成され、目標を満たした。

また、KAGRA における更なる散乱光対策として、Mid-Size baffles を設計し制作した (下図参照)。

Some examples:



Drawn by Hirata-san

(阿久津氏 第 24 回 KAGRA F2F 会議 発表ファイルより)

整理番号 F16